

発刊日 令和1年11月6日

# 奈良体育学会会報

第85号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良教育大学 保健体育講座 （〒630-8528 奈良市高畑町）

## ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 高橋豪仁

晩秋深まる折、会員の皆様にはますますご活躍のことと存じます。

さて、「令和元年度体育学会大会」のご案内をさせていただきます。今年度は、「スポーツの力 ～ 地域に根ざすトップスポーツの役割」をテーマとした公開シンポジウムを開催することになりました。本会が、地域との連携を強め、地元の体育・スポーツ振興、さらには地域社会の活性化に少しでも貢献できればと考え、奈良市に後援をして頂き、このシンポジウムを一般の方に公開することとなりました。また、昨年度同様、奈良女子大学地域貢献事業の一つである「フォローアップ事業」と連携し、奈良県の運動推進にかかわる方々にも出席して頂きます。

また、シンポジウムの前には、10題の一般発表が予定されています。この機会に、多くの方々と幅広い意見交換ができますことを期待しております。万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

## 令和1年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日： 令和1年11月23日（土）

会 場： 奈良女子大学・生活環境学部 E棟1階 E108, E109教室（別紙の地図をご参照下さい）

公開シンポジウム 共催：奈良女子大学、後援：奈良市、天理大学、奈良教育大学

大会参加費： 一般 1000円、学生・大学院生 500円

大会プログラム：

11:30～ 受付（E108, E109教室前）

11:45～12:15 令和元年度奈良体育学会総会（E108）

12:15～15:00 一般発表（E108）

15:15～16:45 公開シンポジウム（E108）

17:15～ 懇親会

**<一般発表>12:15~15:00**  
**(発表時間12分、討論時間3分)**

**座長 笠次良爾(奈良教育大学)**

### **1 (12:15~12:30)**

#### **両足連続跳び越しを用いた運動能力要素の検討**

○室采音<sup>1</sup>、大高千明<sup>2</sup>、藤原素子<sup>2</sup>、中田大貴<sup>2</sup> (1 奈良女子大学大学院, 2 奈良女子大学大学院生活環境科学系)

キーワード：両足連続跳び越し、発育発達、運動能力

要旨：年中児から高校2年生までを対象に、両足連続跳び越し動作の発達の過程を明らかにするために、動作時間、滞空時間、滞空時間のばらつき、接地時間、接地時間のばらつきに関する量的データ、ならびに跳び越しパターンに関する質的データを検討した。

### **2 (12:30~12:45)**

#### **異なる負荷を用いた自転車ペダリングのグレーディング能力の差異**

○的場弘起<sup>1</sup>、松本侑那<sup>1</sup>、灘本雅一<sup>2</sup>、寺田和史<sup>3</sup>、中谷敏昭<sup>3</sup> (1 天理大学大学院 2 桃山学院教育大学 3 天理大学)

キーワード：グレーディング能力、自転車ペダリング、目標回転数

要旨：本研究では体重の5%あるいは8%負荷を用いた自転車ペダリングのグレーディング能力について、指定された目標回転数と主観的回転数の差(誤差)を比較検討した。その結果、自転車ペダリングのグレーディング能力は負荷による差異が認められた。

### **3 (12:45~13:00)**

#### **女子走高跳選手の体力および身体特性と競技パフォーマンスとの関係**

○平元香葉<sup>1</sup>、兼安亜美<sup>1</sup>、松本侑那<sup>1</sup>、井上航平<sup>1</sup>、國井洗樹<sup>1</sup>、中村倅菜<sup>1</sup>、山本大輔<sup>1,2</sup>、寺田和史<sup>1,2</sup>  
(1 天理大学大学院 体育学研究科, 2 天理大学 体育学部)

キーワード：リバウンドジャンプ、リバウンドドロップジャンプ、関節トルク

要旨：本研究では、これまであまり明示されていない、女子走高跳選手の跳躍能力をはじめとする下肢筋機能を中心とした体力特性、および、体組成などの身体特性と、自己最高記録等の競技パフォーマンスとの関係を検討した。

### **4 (13:05~13:20)**

#### **大学陸上短距離選手における事前のスクワットジャンプ運動が走パフォーマンスと下肢筋パワーに及ぼす影響**

○松本侑那<sup>1</sup>、的場弘起<sup>1</sup>、中谷敏昭<sup>2</sup> (1 天理大学大学院, 2 天理大学)

キーワード：活動後増強、スクワットジャンプ、走パフォーマンス

要旨：本研究では、体重の10%負荷を加えた自体重による事前のスクワットジャンプ運動が大学陸上短距離選手の走パフォーマンス及び下肢筋パワー発揮能力に及ぼす活動後増強の影響について検討したので報告する。

### **5 (13:20~13:35)**

#### **片脚立位での姿勢安定性に着目したエクササイズ・プログラムは大学女子バレーボール選手の跳躍パフォーマンスを向上させるか**

○松本健二<sup>1</sup>、梅崎さゆり<sup>1,2</sup>、兼安亜美<sup>1</sup>、平元香葉<sup>1</sup>、沖 和久<sup>1</sup>、中谷敏昭<sup>1,2</sup>、寺田和史<sup>1,2</sup>  
(1 天理大学大学院 体育学研究科, 2 天理大学 体育学部)

キーワード：垂直跳、片脚スクワットジャンプ、ニーアップ動作

要旨：大学女子バレーボール選手に対して、片脚立位での姿勢安定性に着目して新たに考案したエクササイズ・プログラムを実施し、それが各様式による跳躍パフォーマンス及び片脚立位時の足圧中心動揺にどのような効果を与えるか、無作為化比較対照試験により検討した。

## 6 (13:35~13:50)

### 陸上競技短距離・跳躍選手のウェイトトレーニング種目におけるパワー発揮様式とスプリントパフォーマンスとの関係

○兼安亜美<sup>1</sup>, 平元香葉<sup>1</sup>, 松本侑那<sup>1</sup>, 井上航平<sup>1</sup>, 國井洸樹<sup>1</sup>, 中村倭菜<sup>1</sup>, 山本大輔<sup>1,2</sup>, 寺田和史<sup>1,2</sup>  
(1 天理大学大学院 体育学研究科, 2 天理大学 体育学部)

キーワード: ハイクリーン, スクワット, スクワットジャンプ

要旨: 本研究では、大学陸上競技短距離・跳躍選手を対象に、ウェイトトレーニング種目実施中の重量を段階的に変化させた際の発揮パワーを、リニアトランスデューサーにより測定し、それら各重量における発揮パワーとスプリント能力との関係について検討した。

## 座長 井上洋一 (奈良女子大学)

## 7 (14:00~14:15)

### 野球の捕球技術について -グローブ職人の視点から-

○石村広明 (天理大学)

キーワード: グローブ職人、語り、捕球技術

要旨: グローブ職人として63年のキャリアを持つ人物へのインタビュー調査から、捕球技術やグローブの操作において大切であることを明らかにした。そうした作り手の視点から、これまで着目されていなかった新たな捕球技術の指導への可能性を示す。

## 8 (14:15~14:30)

### 中国におけるスポーツ政策の変遷に関する研究—スポーツくじの出現及び現状と課題に注目して—

○王思涵 (奈良教育大学大学院)

キーワード: 中国、スポーツ政策、スポーツくじ

要旨: 本論文では、中国建国時期の計画経済から改革開放以後の社会主義市場経済体制へと社会が変化する中で、政府のスポーツ政策が如何にスポーツくじの生成、発展に影響を与えたのかとスポーツくじの現状及び課題を明らかにする。

## 9 (14:30~14:45)

### 総合型地域スポーツクラブと地域における連携・協働事業に関する研究 —外部からの資金による事業—

○栗飯原 真央 (奈良教育大学大学院)

キーワード: 総合型地域スポーツクラブ、委託事業、連携・協働事業

要旨: 本研究では、総合型地域スポーツクラブの助成金がどのように使われてクラブの活動や地域の活性化につながっているのかを奈良県橿原市にあるポルベニルカシハラを事例として明らかにする。

## 10 (14:45~15:00)

### スポーツにおける観戦動機に関する文献レビュー

○田中 駆<sup>1</sup>, 稲葉 慎太郎<sup>2</sup> (1 天理大学大学院, 2 天理大学)

キーワード: 観戦動機, 女性スポーツ, 新しいサービス

要旨: 観戦者の増加を目指すうえで、観戦動機を明らかにすることは必要不可欠です。ここでは主に、観戦動機に関する研究を大きく進展させたことが明らかとなった2つの尺度について、そして今後の研究の可能性について提言いたします。

## 公開シンポジウム (E108) 15:15～16:45

テーマ：「スポーツの力 ～ 地域に根ざすトップスポーツの役割」

趣旨：

1993年のJリーグ開幕以降、プロ野球独立リーグやbjリーグ（現、Bリーグ）など、日本各地に地域密着型のプロスポーツチームがつくられました。もはや一過性のブームではなく、日本においてプロスポーツが地域の文化的公共財となっていると言えます。なぜこれ程多くのプロチームがつくられ、それらが存在し得るのでしょうか。

地域のプロスポーツチームは、試合の興行を行うだけでなく、スポーツ教室事業を実施したり、学校の部活動を支援したり、地域のイベントに参加したりします。こうした共益的な活動ゆえに、行政はもちろん、企業もスポンサーとして地元のプロチームを支援することとなります。さらに、他府県の事例を見てみると、プロスポーツチームの存在は、見るスポーツやするスポーツのプロモーションだけでなく、住民・企業・行政の協働を引き起こす触媒として、教育、産業、観光、情報発信（広報）の領域をも巻き込んで、その地域の活性化に貢献しているようです。

そこで、本年度の奈良体育学会のシンポジウムでは、Jリーグ入りを目指している「奈良クラブ」の役員、奈良クラブがホームタウンとしている奈良市のスポーツ振興担当者、スポーツマネジメントを専門とする研究者にご登壇いただき、地域に根ざすトップスポーツがどのような社会的役割を果たせるのかを検討します。

シンポジスト：

矢部 次郎（株式会社奈良クラブ代表取締役副社長 / NPO 法人奈良クラブ理事長）

長 香里（奈良クラブ ホームタウン担当）

「サッカーを変える 人を変える 奈良を変える」

阪口 一志（奈良市 スポーツ振興課）

「奈良市とトップスポーツチーム ー支援・協力と課題ー」

稲葉 慎太郎（天理大学）

「多様な地域ネットワークにおけるスポーツの位置づけ」

司 会：高橋豪仁（奈良教育大学）

主 催：奈良体育学会

共 催：奈良女子大学

後 援：奈良市、天理大学、奈良教育大学

**17:15～ 懇親会** 会費：3,000円

懇親会場；四季彩菜 一条 東向通店

奈良市東向南町15 電話番号：0742-22-6226（近鉄奈良駅より南方向へ徒歩約3分）

※予約の関係上、参加される方でまだ申し込みをされていない場合は11月13日までに、事務局にお知らせ下さい。

# 奈良体育学会事務局よりお知らせ

## ○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

学会大会で発表された方は、下記の「発表抄録書式」の要領で、抄録の投稿をお願いします。また、可能な限り「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

締め切り：令和2年2月1日(土)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局

(〒630-8528 奈良市高畑町奈良教育大学保健体育講座 井上邦子宛)

E-mail: kinoue@nara-edu.ac.jp)

※ **CD-ROM**などの媒体と(添付ファイル可)、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。

折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

**誌上発表論文書式**：用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4~6枚、上下左右の余白を20mm  
(過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。また、日本体育学会投稿規定に準じ、学生・大学院生の方は指導教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

**発表抄録書式(今年度の大会発表者用)**：用紙A4で1枚(図表込み)、本文は2段組をお願いします。文字は、タイトル14ポイント、氏名・所属11ポイント、本文は9ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9ポイント)を所属と本文の間に3語で入れてください。

原稿作成見本および詳細は以下のURLにありますので、ファイルにアクセスして作成してください。

<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~takahasi/syoroku.docx>

## ○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和元年度の年会費をお納め下さい。年会費は1,500円です。なお、2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169  
加入者名 奈良体育学会

**奈良女子大学構内図**

**自動車の方は東門から、徒歩の方は正門・南門からお入りください。**



- ① 正門・守衛室 (重要文化財)  
Main Gate - Guardroom (Important Cultural Property)
- ② 記念館 (重要文化財)  
Memorial Hall (Important Cultural Property)
- ③ 本部管理棟  
Administration Hall
- ④ 講堂  
Auditorium
- ⑤ 文学系N棟・国際交流センター  
N Hall (Faculty of Letters) International Exchange Center
- ⑥ 文学系S棟  
S Hall (Faculty of Letters)
- ⑦ 理学系A棟  
A Hall (Faculty of Science)
- ⑧ 理学系B棟  
B Hall (Faculty of Science)
- ⑨ 理学系C棟  
C Hall (Faculty of Science)
- ⑩ 理学部G棟  
G Hall (Faculty of Science)
- ⑪ 生環系A棟  
A Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑫ 生環系D棟  
D Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑬ 生環系E棟  
E Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑭ 大学院E棟  
E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)
- ⑮ 大学院F棟  
F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)
- ⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター  
H Hall (Integrated Projects Research) Center for Clinical Psychology

- ⑰ 大学ラウンジ  
Lounge
- ⑱ 学術情報センター  
Academic Information Center
- ⑲ 保健管理センター  
Health Care Center
- ⑳ 大会館  
University Union
- ㉑ R・I 総合実験室  
Radiotope Laboratory
- ㉒ 第1体育館  
First Gymnasium
- ㉓ 第2体育館  
Second Gymnasium
- ㉔ 文化系サークル共用施設  
Club House
- ㉕ 音楽棟  
Music Hall
- ㉖ 課外活動サークル施設  
Facilities for Extracurricular Activities
- ㉗ 合宿所  
Training Camp House
- ㉘ 埋蔵文化財調査室  
Archaeology Research
- ㉙ 寄宿寮・国際学生宿舎  
Dormitory/International Student House
- ㉚ 佐保会館 (同窓会)  
Alumni Hall
- ㉛ 国際交流会館  
International House
- ㉜ 国際交流プラザ  
International Plaza
- ㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター  
Collaboration Center KYOUSEI Science Center for Life and Nature

- Ⓐ 総務・企画課、財務課、施設企画課  
General Affairs and Planning Division, Financial Division, Facility Planning Division
- Ⓑ 国際課  
International Division
- Ⓒ 研究協力課  
Research Cooperation Division
- Ⓓ 学生センター  
Center for Student Services  
学務課 (2階)  
Educational Affairs Division  
学生生活課、入試課 (1階)  
Student Support Division, Entrance Examination Division
- Ⓔ 学術情報課  
Library and Information Division